県立劇場

☎〇九六―三六三―二二三三

総勢三百名の大合唱！ ベートーヴェン「第九」

●十二月二十五日(水)
●コンサートホール(午後六時三十分)

年末の音楽行事として、すっかり定着した熊本交響楽団による「第九」の演奏会。今年は指揮者にチェコスロバキアのラジオオーケストラ首席指揮者、フラライシェック・ワイナール氏をお招きします。合唱は、地元音楽愛好家により編成された「県民第九の会」。総勢三百名による「喜びの歌」を是非お聞きください。

最後まで目が離せないプログラム！ 芸術文化'85秋・熊本

二カ月余りに渡って繰り広げられている「芸術祭」もいよいよ大詰。この秋最高の文化イベントを是非お見逃しなく。

室内楽のタベ
●十一月二十六日(火)(午後六時三十分)
●コンサートホール

バレエ「くるみ割り人形」
●十一月二十六日(火)(午後七時)
二十七日(水)(午後七時)
●演劇ホール

コンサートホール
●IYコンサート
●十二月一日(日)
熊本大学フィルハーモニーオーケストラ定期演奏会
●十二月二十一日(土)
吉原すみれ打楽器トリオ
●六十一年一月十日(金)

演劇ホール
熊本市民劇場十月例会
●十一月二十八日(木)・二十九日(金)
劇団民芸公演「わたしは生きたい」
●十一月二十九日(金)・三十日(土)
熊本女子大学マンドリンクラブ定期演奏会
●十二月六日(金)
第三回エアロビクスエクササイズ、ダンササイズ熊本公演
●十二月七日(土)
クリスマスこども大会
●十二月二十二日(日)
子供のためのクリスマスコンサート
●十二月二十四日(火)
ミッキーベージとその仲間達
PART2
●十二月二十八日(土)
清水バレエリサイタル
●六十一年一月七日(火)・八日(水)
喜多流三ッの木の会第二十回記念公演
／三ッの木会
●一月十四日(火)・十五日

県立美術館

☎〇九六―三五二―二一一一

個性豊かな19世紀の名作群。 ルドンをめぐる巨匠たち展

●十一月十六日(土)～十二月十五日(日)

十九世紀末の象徴主義の巨匠ルドンの作品二百点を中心に、デューラー、レンブラント、ミレー、コロー、ゴーガン、ドニ、ほかの名作群。

王朝文化一千年の遺産 陽明文庫蔵・近衛家伝世名宝展
●十一月二十一日(木)～十二月十五日(日)

熊日書道展
●十二月十九日(木)～二十四日(火)

第二期収蔵品展〈肥後の近世絵画・現代絵画〉
●六十一年一月五日(日)～二月十六日(日)

九州グラフィックデザイン展
●六十一年一月七日(火)～十二日(日)

伝統工芸館

☎〇九六―三二四―四九三〇

信州の手仕事 小岩井紬工房展
●十一月二十日(水)～二十四日(日)

第二回クリスマスデザイン展
(生花のアレンジメント、ドライフラワー、ポプリ等)
●十一月二十九日(金)～十二月一日(日)

第二回創作手芸作家作品展
●十二月四日(水)～八日(日)

パッチワークキルト展
●十二月十一日(水)～十五日(日)

県立総合体育館

☎〇九六―三五六―一二三三

鼓笛音体フェスティバル60
●十一月二十日(水)

県ミニバスケットボール選手権大会
●十一月二十三日(祝)・二十四日(日)

日本ハンドボールリーグ熊本大会
●十一月三十日(土)・十二月一日(日)

県下卓球総合選手権大会
●十二月一日(日)

県下家庭婦人バドミントン大会
●十二月四日(水)

県教職員ハンドボール大会
●十二月七日(土)・八日(日)

県下高校卓球新人大会
●十二月十四日(土)・十五日(日)

県バレーボール祭り
●十二月十五日(日)

中九州対抗試会(空手)
●十二月二十一日(土)・二十二日(日)

県下インドア選手権大会
●十二月二十一日(土)・二十二日(日)

室内総合ハンドボール大会
●十二月二十五日(水)・二十六日(木)

室内テニス選手権大会
●六十一年一月十一日(土)・十二日(日)

市民バドミントン初打会
●六十一年一月十五日(祝)

県民総合運動公園

☎〇九六―三八〇―七五九九

全九州選抜熊本大会
テニス
兼学年別大会
●十一月十六日(土)・十七日(日)

熊本県混合ダブルス大会
●十一月二十三日(祝)・二十四日(日)

中学・高校OB・OG大会
●十二月一日(日)

熊本県シングルストーナメント大会
●十二月七日(土)・八日(日)

第20回県サッカーリーグ
サッカー
●十一月十七日・二十四日・十二月一日・十五日・二十二日(いずれも日曜日)
●六十一年一月十二日(月)

第六回全九州選抜中学生サッカー大会
●六十一年一月五日(日)・六日(月)

社会人市長杯
ラクビー
●十一月十七日(日)・二十四日(日)

全九州クラブ実業団県予選
●十二月一日(日)・八日(日)

県下高等学校女子駅伝大会
その他
●十一月十七日(日)

熊本県選手権大会(アーチェリー)
●十一月十七日(日)

〈スポーツ教室〉

「たのしい水泳教室」二期
●対象者／一般の男性・女性●実施内容／各種の泳法を習得し、ゆっくり、より長く泳ぐ力を身につける。●申込期間／十二月九日～二十一日●人員／五十人●参加費／四千円●実施期間／六十一年一月八日(水)～三月三十一日(月)(全十三日間)

「やさしいテニス教室」(硬式)
●対象者／一般の男性・女性●実施内容／テニスの基本技能を身につけ、楽しくゲームができる。●申込期間／十二月十一日(水)～二十二日(日)●人員／三十人●参加費／四千円●実施期間／六十一年一月九日(木)～三月二十七日(木)(毎木又は、水曜、全十三日間)

もっと楽しく英語を学ぼう。

日本の高校で英語を教える――ローラ・ウォーマスさん

英語指導教諭として日本に来て一年ちょっとになりますが、私は日本が大好きになりました。日本にはアメリカにないものがたくさんあるからです。一言でいって「チャンポン・ソサエティー」。つまり、古いものと新しいものがミックスして、とてもユニークな社会だと思います。

日本各地を旅行しましたが、私は、東京が好きです。それは、街の中を多くの外国人が歩き回り、外国の品物も豊富に出回っているからです。東京にいると、時々自分が本当に日本にいるのか外国にいるのか分からなくなってしまうことがあります。京都も好きな所の一つです。それは京都が、文化的に素晴らしい所だからです。でも観光客が多すぎるのがちょっと…。そういった点では、静かな田園の熊本が大好きです。又熊本は今、どんどん新しい産業を取り入れたり、地域の活性化も盛んに行われていて、県民が、とても生き生きして見えます。

「日本一づくり運動」は、とても素晴らしいと思います。県民の人達みんなが、自分自身の手で地域を活性化していこうという意識と意欲をもつことはとても意義のあることです。でも一部には、何となく表面だけのところもあるようです。もっとしっかりと基礎作りをしながら、地域の特色を掘りおこし、工夫を凝らして運動を展開してもらいたいと思います。

◇

日本で、高校生に英語を教えていて感じたことですが、ほとんどの生徒が、「自分がどうして英語を勉強しているのか」よくわからず、ただ入試のためにやりたくもない英語を勉強しているみたいです。これは、日本の英語教育がそうなっているから、私がとやかく言っても仕方ないことですが、日本の学生は、自分自身の目的や動機をもたず、まわりの力で勉強させられているという気がします。

これは、アメリカの高校生にも言えることですが、ただアメリカの場合は、強制的に勉強させられているとはいっても、けっこう高校生活をエンジョイしています。

◇

最近の日米関係は、貿易摩擦などに見られるようにギクシャクした部分もあるようです。それは両国とも、相手国に対して、かなりのミスコンセプション（間違った認識）が存在しているからだと思います。私も、英語教育を通して、このミスコンセプションを取り除き、お互いに相手方を、もっとよく理解できるよう、お手伝いをしていきたいと思っています。

もちろん、私に今の日本の教育システムを変えることなんてとてもできませんが、日本の高校生に、英語を学ぶことは、とっても楽しいものだということをわかってもらうよう努力するつもりです。多くの人が、「良薬は口に苦し」と信じているかもしれませんが、良薬は決して苦いものではなく、おいしいということを、少しでも多くの高校生にわからせたいですね。

〈プロフィール〉
アメリカ・カリフォルニア州生まれ、フィットマン大学で英文学を学ぶ。一年三ケ月前、英語指導教諭として来熊。現在、阿蘇高校、小国高校で教鞭をとる。趣味はハイキング、音楽鑑賞など。